



# 都会のカラス

～その被害と私たちにできること～

都会ではカラスと人間との間で様々な摩擦が生じています。  
私たちの生活様式がカラスの増加を招いた主な原因です。

具体的にどのような被害が起きているのでしょうか。

私たちはどう行動すべきなのでしょうか。

カラスとの関係を見直してみましよう。

# カラスによる被害

都会ではカラスの数が増えた結果、人との間で様々な問題が発生しています。代表的な例を紹介します。



## ゴミの散乱

カラスはゴミ集積所などに集まり、ゴミ袋を破いて生ゴミを食べ散らかします。散らかったゴミは、まちの美観を損ない、ゴミ収集業務にも支障をきたします。

## 糞・鳴き声

ねぐらやその周辺のようにたくさんのカラスが集まる場所では、糞で建物などが汚されます。また、早朝から活動するため鳴き声がうるさいといった問題が発生しています。



## 威かく・攻撃

繁殖期の巣に過度に近づくと、威かくや攻撃をされることがあります。特にヒナの巣立ちの時期（5～6月）に攻撃行動が激しくなります。



3月～6月 年1回の繁殖期です。ゴミをあさる行動が目立ちます。

つがいで巣を作り、そこで子育てをします。カラスが一番凶暴な時期になります。

この時期はカラスの巣の下を通っただけでカラスに襲われることがあります。

なぜかという・・・巣に近づくと全てのものが敵だと思ってしまうようです。

怖いですね～！ 近づかないように気を付けて下さいね！

7月から10月はカラスの子供が巣立ちます。この時期もゴミをあさる行動が目立ちます。

# カラスによる被害を防ぐには...

## ゴミの出し方を工夫する

ゴミの出し方を工夫することは、ごみの散乱を防止するだけでなく、長期的にはカラスの増加を抑えることができると考えられます。

### 生ゴミを減らす

カラスにとって生ゴミは食物です。生ゴミを少なくする工夫をしましょう。



### 収集時間を守って出す

前日の夜や早朝にゴミを出す、放置する時間が長くなり、カラスに荒らされる可能性が高くなります。ゴミを出す時間をしっかり守りましょう。

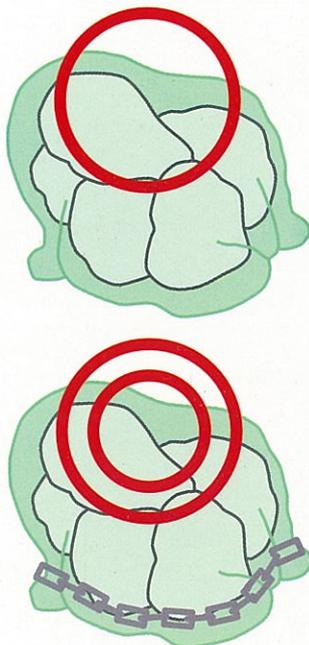


### 生ゴミを見えないようにする

カラスは主に視覚で食べ物を探すので、紙に包むなど外から見えないようにすると被害を減らせます。

### ネットなどでゴミを覆う

カラスがゴミにふれることができないようにネットなどでゴミ袋を覆いましょう。ネットの網目は、カラスのくちばしが通らない程度の細かいものにしましょう。ネットはゴミ袋がはみ出さないように全体を覆いましょう。鎖などで重りをつけるとネットが風などでめくれることを防げます。



大阪市では、からすによるごみの散乱被害を防止するため、大阪市が収集するごみの持ち出し場所（概ね5世帯以上で利用されている場所）に、からすネット（防鳥ネット）を無償で貸し出します。

ご希望の方は、貸与申込書をお住まいの地域を担当する各環境事業センターへ提出してください。



● ゴミを荒らすカラス



● 荒らされたゴミ



● 荒目と細目のあみでは、効果がちがってくる。

きゅうじ

# 給餌をやめる



公園などでドバトやカモ類などに餌を与える光景は、よく見られます。近年、これらの鳥に混ざって餌を食べているカラスが目立つようになりました。さらに、カラスそのものに餌を与える人も増えていきます。

給餌をすることで、カラスは人が食べ物をくれるものだと思い、人を恐れなくなります。ゴミを荒らしているカラスを追い払おうとしても、逃げなくなったなどという例もあります。また、いくらゴミを管理しても、給餌を増やせば、食物が増え、意味のないものになります。

カラスは、絶滅の恐れがあるため給餌などで保護されている野生動物とは違い、普通に自然の中で生きていくことができます。また、天敵がない都会のカラスは、給餌をすることで個体数が増え、人に被害をもたらします。人と野生動物の関係は一定の距離を保つことが必要です。カラスへの給餌はやめましょう。



● カラスの巣

